

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課：道路局 国道・技術課

担当課長名： 西川 昌宏

事業名	えんがるきたみ 遠軽北見道路(一般国道333号) いくたはら 生田原道路			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局		
起終点	ほっかいどうもんべつ えんがるちよういくたはらみずほ 自:北海道紋別郡遠軽町生田原水穂 ほっかいどうもんべつ えんがるちよういくたはらあさひの 至:北海道紋別郡遠軽町生田原旭野					延長	5.7km		
事業概要									
遠軽北見道路は、北海道横断自動車道網走線と旭川・紋別自動車道を連絡する高規格道路である。 生田原道路は、高規格道路ネットワークの拡充による、オホーツク圏と道央圏との連携強化を図り、地域間交流の活性化、物流効率化等の支援を目的とした5.7kmの事業である。									
H19年度事業化			H一年度都市計画決定 (H一年度変更)		H20年度用地補償着手		H21年度工事着手		
全体事業費		約196億円		事業進捗率 (令和6年3月末時点)		約73%		供用済延長	0.0km
計画交通量		9,300台/日							
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 60/212億円			総便益 (残事業)/(事業全体) 251/251億円			基準年
	1.2	4.7%	事業費:48/200億円 維持管理費:12/12億円 更新費:一/一億円			走行時間短縮便益:213/213億円 走行経費減少便益:29/29億円 交通事故減少便益:9.3/9.3億円			令和6年
	(参考) 1.8 [2%]								
	2.3 [1%]								
	(残事業)	(残事業)	感度分析 (事業全体)		(残事業)				
	4.2	17.2%	交通量	B/C=1.1~1.3(±10%)		交通量	B/C=3.8~4.7(±10%)		
	(参考) 5.7 [2%]		事業費	B/C=1.2~1.2(±10%)		事業費	B/C=3.9~4.6(±10%)		
6.7 [1%]	事業期間		B/C=1.1~1.2(±20%)		事業期間	B/C=4.1~4.3(±20%)			
事業の効果等									
事業の必要性及び効果									
① 主要都市間の連絡性向上 ・主要都市間の更なる連絡性向上や地域間交流の活性化が期待される。 ② 農水産品物流ルートの安全性向上 ・広域交通と生活交通の機能分担が図られ、物流ルートの安全性向上が期待される。 ③ 救急搬送の安定性・速達性向上 ・走行安定性向上による患者への負担軽減や救急搬送時の速達性向上が期待される。 ④ 異常気象時の確実性向上 ・異常気象時における耐災害性が強化され、基幹道路の確実性向上が期待される。 ⑤ 周遊観光の活性化 ・遠紋地域から主要観光地への速達性が向上することでオホーツク圏の広域観光の活性化が期待される。 ⑥ 日常生活の利便性向上 ・地域住民の日常生活における利便性向上が期待される。									

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等:

北見市を始めとする1市2町の首長等で構成される「遠軽北見道路整備促進期成会」等から、早期整備の要望を受けている。

知事の意見:

「遠軽北見道路(一般国道333号) 生田原道路」事業を「継続」とした「対応方針(原案)」案について、異議はありません。

当該事業は、広域ネットワークの拡充による地域間交流の活性化や物流効率化の支援、救急搬送の安定性・速達性向上が図られるなど、経済・社会活動の活性化や道民の安全・安心な暮らしの確保に寄与することから、早期供用をお願いいたします。

なお、事業の実施に当たっては、周辺環境への影響を最小限にとどめるとともに、より一層の徹底したコスト縮減を図り、これまで以上に効率的・効果的な執行に努めるようお願いいたします。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針については、北海道開発局案を妥当と判断する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

[旭川・紋別自動車道]

- ・平成21年12月 旭川・紋別自動車道 白滝IC～旧白滝開通
- ・平成22年 3月 旭川・紋別自動車道 上川天幕～浮島IC開通
- ・平成29年 3月 旭川・紋別自動車道 丸瀬布IC～遠軽瀬戸瀬IC開通
- ・令和元年12月 旭川・紋別自動車道 遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC開通
- ・令和 3年 4月 旭川・紋別自動車道 遠軽上湧別道路 新規事業化

[北海道横断自動車道網走線]

- ・平成25年 3月 北海道横断自動車道網走線 北見西IC～北見東IC開通
- ・平成27年11月 北海道横断自動車道網走線 訓子府IC～北見西IC開通
- ・平成29年10月 北海道横断自動車道網走線 陸別小利別～訓子府IC開通
- ・平成31年 4月 北海道横断自動車道網走線 端野高野道路 新規事業化
- ・令和 6年 4月 北海道横断自動車道網走線 女満別空港網走道路(女満別空港～網走呼人) 新規事業化

[その他]

- ・平成21年 3月 国道333号新佐呂間トンネル開通
- ・平成21年10月 湧別町と上湧別町が「湧別町」となる
- ・令和元年12月 道の駅「遠軽 森のオホーツク」が開業
- ・令和 2年 1月 北海道7空港民間運営開始
- ・令和 5年 6月 「北海道白滝遺跡群出土品」が国宝指定

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度に工事着手して、用地進捗率85%、事業進捗率73%となっている。

(令和6年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期開通に向けて事業を進める。

施設の構造や工法の変更等

引き続き、コスト縮減に取り組んでいく。

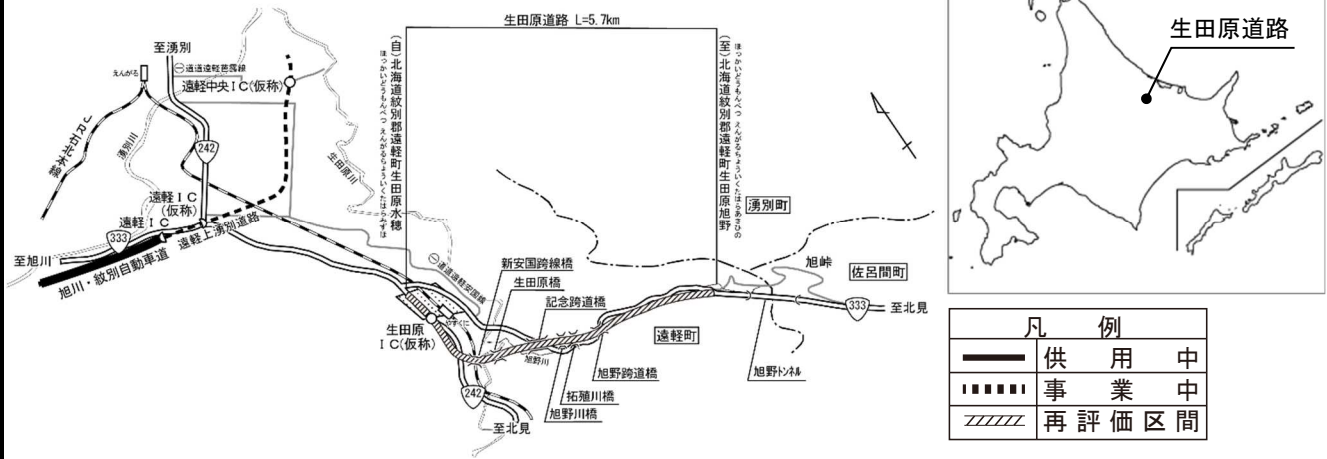
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。〔 〕内は社会的割引率の値